

## EX STAGE”,”クリスマス・ストーリーズ1

話者	台詞 / ト書き
	■ULA渋谷
カツマ	【ユーザー名】、 いらっしやい。 みんな来てくれたんだね。
テルミ	そりゃ来るよ。 この場所でクリスマスイベント やるなんて、前なら考えられないし。
カツマ	えへへ。コウヘイがたまには ULA渋谷から世間に向けて、 イベントやろうって言うからさ。
テルミ	いんじゃない？ 『ULA渋谷が在った』ってこと、 たまに思い出すべきだしね。
テルミ	で、まだキミだけ？ クリア姫は来てないのかな？
エチカ	お姫さまはどこかなどこかなー？
カツマ	あはは、テルミもエチカも 気が早いよ。 クリアならこのあと来るから。
テルミ	えへ、ごめんごめん。 話すの久しぶりだから ちょっとソワソワしてた。
エチカ	うっかりそわそわー。 メリクリメリクリー。
キョータロー	よー、お前らもう来てたのか。
ミアラカ	先生ー、みなさーん！ メリークリスマスでーす！
コロソブン	ULAAA！ ホーリーナイトツ！
カツマ	メリークリスマス、ミア！ ……あれ？ ムツキとセナは？
キョータロー	ん？ ムツキは知らねーが セナはすぐ来るって 言ってたけどな。
ミアラカ	セナちゃんなら ひょっこり現れますって。 先に楽しんでましよーよー。
カツマ	そーだね、ユウトとシンジも そろそろみたいだし。 ひと足先に盛り上げよ！
レイチェルACT	みんな、メリクリー～！ 今日のイベントは、カツマと レイチェルが揃っちゃうよー！
テルミ	わ、レイチェルもACTになったんだ！ すごいじゃんカツマ、 こっちの姿が公認なんて。
カツマ	えへへ。こーしてレイチェルを カツマとして見つめるのは、 ちょっと照れ臭いけどね。

エチカ	可愛きゃオールおーけーだよー。 ねー、テルミー？
テルミ	そうだよね、エチカ。 似合ってるし、全然OKじゃん。
キョータロー	そういうお前も、 思いっきりエチカに ドレスアップさせてきたなあ。
エチカ	似合う似合うー？ おさわりNGだよー？
テルミ	アハ、最近引きこもってたし 目立たせてあげたくてさ。 あたしと違って可愛いでしょ？
キョータロー	あ？ お前も昔と比べりゃ ずいぶんと……なあ、 【ユーザー名】。
テルミ	ちよ、ちよつと。 キミ、そーいう感じだっけ？ なに余裕出してきてんの？
ヅR	余裕ではない。 キョータローもクリスマスを機会に 勇気を出し、本音を吐露しているのだ。
キョータロー	いきなり出てくんな、ヅR。 俺だって少しは可愛いモンに 興味出てきたんだよ。
テルミ	キミそれ、照れ隠しのつもり？ ……まーいいや、ありがと。
ミアラカ	むふふつ。 クリスマスは人を 素直にさせるのですねえ。
ミアラカ	ところでカツマさん、 コウヘイさんはどこですー？ アイサツが遅いですよ、彼つ。
カツマ	コウヘイなら さっきそこで——ん？ 僕のレイチェル？
レイチェルACT	……メリクリ……。 みんな、ハッピー……。 いっぱい、幸せに……。
レイチェルACT	みんな、私のステージで サイコーハッピーに なっちゃおうよー！
カツマ	うわわ……！？ せ、制御できないっ！？
テルミ	！！ これ、もしかして……！？
エチカ	うえー？ ここも『小特異点』ー？
ミアラカ	ちょうどいんじゃないですか？ どうせイベントなんですから、 ファーストステージはじめちゃえば。
テルミ	あ、それもそっか。 【ユーザー名】、 すぐ行ける？
選択肢A	//選択肢 A 盛り上げてくる B 可愛がってくる 盛り上げてくる
テルミ	アハ、さすが。 その調子で、観客のテンション アゲまくってよね！
カツマ	よーし。 こうなったら僕も、なんとか 私の制御に挑戦してみる！
選択肢B	可愛がってくる

カツマ	もー、 【ユーザー名】…… 僕、優しくないのは嫌いだよ？
テルミ	……ホント。 キミ、ホントにホントに そーいうとこだからね。
合流	
エチカ	とにかく行けちゃうならゴーゴー、 【ユーザー名】ー！
レイチェルACT	【ユーザー名】っ！ 私のプレゼント 受け取ってねー！

話者	台詞 / ト書き
	//レイチェルACTとバトル
レイチェルACT	【ユーザー名】！ 私のいちばん可愛いトコロ、 一番近くで見てねっ♪
カツマ	……僕って、振り切れると こんなにダイタンだったんだね。
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■ULA渋谷
レイチェルACT	ごめんねカツマ、負けちゃった…… 私、可愛くなかったかな？
カツマ	いいや、可愛いよレイチェル。 君は世の中のどんな男女より可愛い。 僕が保証する！
エチカ	おお。 これがホントの自己肯定だね、 テルミー？ 美しいねー？
テルミ	ん、んー。 ちょっと判断難しいね 【ユーザー名】。
キョータロー	ぼ、ポジティブで いーんじゃねーかな。 なあ、ミアラカ？
ミアラカ	アニメとアニメスの 理想的な調和です。 なんの問題もねーですね。
レイチェルACT	さあ、クリスマスは まだまだこれからだよ！ みんな、もっと楽しんでねー！
エチカ	おうおうー！ 楽しむ楽しむー！
	■渋谷 ースペイン坂ー
アナテマ	私のセナ。 ずいぶんと予定の時間に 遅れてしまったようですが。
セナ	別にいーんだよ、急がなくて。 こういうイベント、 もう乗り気になれないしさ。
セナ	それにアナテマも、ヒトゴミで ジロジロ見られるのイヤでしょ。 無理しないでいーよ。
アナテマ	私は平気ですが……セナ。 あなたはやはり、ACTの立場を 優先させるクセがあるようですねえ。
アナテマ	私を連れて人目を引くのが イヤなのであれば、引っ込めて いただいて構いませんよ。
セナ	別にイヤなんて言っていないじゃん。 そりゃあお前は皮肉ばっかで めんどくさいけどさ。
セナ	マッチングして使ってたから、 隠す必要も逃げる必要もないでしょ。 どーせ僕、すでに嫌われてるもん。
アナテマ	……………。
セナ	まあ、最初は呪いのACTなんて ビビったけど、実はワリと 見かけ倒したよねお前。あははっ。

アナテマ	……………。 難しい、ですね。
セナ	は？ なにが？
アナテマ	私は—— 自分を見つめられることに 慣れていないもので。
セナ	僕は別に見つめてるわけじゃ…… そ、そういうこと言いながら さらっと指握ってくんнатての——
セナ	——！？
クレア	遅刻よ、ユウト。 若さは見た目だけで、 下半身は幼虫並ね。
ユウト	これでも急いでるんだよ。 そっちが準備に 時間かけすぎたんでしょ。
クレア	新曲を披露するの。 準備をする時間はいくらあっても 足りないぐらいだわ。
ユウト	はいはい……ったく、 聴かせたい相手が 増えたみたいで結構だね。
セナ	げっ…… 今通り過ぎてったのは……。
アナテマ	……………。 響ユウト。 そして、彼女は……。
アナテマ	またしても私は、 運命の邪魔者に なる予感がしますねえ……。

## EX STAGE”,”クリスマス・ストーリーズ2

話者	台詞 / ト書き
	■ULA渋谷
テルミ	はー、遅いなあクレア姫。 全然時間過ぎちゃってるし、 どこほつき歩いてんだろ。
ミアラカ	なーんかテルミさん、 彼女待ってるみたいですねー先生。
キョータロー	あんだけ目の上のたんこぶ扱い してたくせになー。 仲良くなったもんだ。
テルミ	……キミらねー。 コソコソ言ってるけど……。
クレア	全て聞こえているわよ。 誰が誰の彼女なのかしら。
テルミ	わっ! ? 来てるなら早く言ってよ、 クレア姫!
エチカ	シレーナ、シレーナー! 久しぶりぶりー!
シレーナ	久しぶりです、エチカ。 クレアとテルミのために、 大人しくしていきましょうね。
クレア	恋をされるのは勝手だけれど、 安易なアピールはどうなのかしら。 もっと巧妙に伝えて欲しいものだわ。
テルミ	してないっつの! 出てきてそーそーに かき回すなバカ姫! ……てかひとり?
テルミ	ダメじゃん、有名人なんだから。 注意して行動しなきゃ危ないよ。
クレア	怒りを表明しながら、 さも当然のように相手を心配する。 あなたは、そういうところよね。
テルミ	……は?
ミアラカ	あるあるです。 テルミあるある。
キョータロー	わかるわかる。 そいつそーゆうとこある。 な、【ユーザー名】。
クレア	さて、今日の私達の目的は、 お互いの研究成果を 照らし合わせることだったわね。
テルミ	……平然と本題に入られると ムカつくなあ。 そーだけどさ。
クレア	近い問題に取り組んでいる人間は、 私達だけではないみたいよ。 見て。
テルミ	んー……?

シンジ	毎回うぜーんだよお前。 いちいちオフィシャルイベに 連れ出しやがってよー。
ムツキ	ふん、おめおめと現れたじゃないか。 このイベントに世間が注目していると 理解して、私に同意したのだろう？
シンジ	テメーなんかに同意するか。 ユウトが出るつつたから 来ただけだっっちゃ。
ムツキ	誤魔化すな。 貴様も『小特異点』の反応は 気にしているはずだ。
ムツキ	なにをすれば戦いが盛り上がり、 なにをすればそれが強く反応するか、 貴様も心得ている。違うか？
シンジ	ただ盛り上げるだけじゃ ダメっつんでしょ。 【ユーザー名】——
シンジ	アイツの戦いをサイコーに 刺激できるのは俺だかんね。
ムツキ	否。私と貴様だ。 ULA渋谷の野良猫一匹では、 世間は動かせん。
シンジ	あーん？ 先にお前をシメちゃっても いんだべど？
ムツキ	そのステージが面白いのであれば それもよからう。 だが——確かめたくはないか？
ムツキ	アイツが、私とお前を同時に 相手できるほどの英雄であるかどうか。 この、年に一度の舞台で。
シンジ	……………。
キョータロー	遠目に見てもわかるほど ギラギラしてやがんど、 あの人外美少女ども……。
ミアラカ	クリスマスですからねえ、 くんずほぐれつの ハッピーなサービスを世間に……？
テルミ	あの二人に限って、 それはないっしょ……。
ムツキ	【ユーザー名】！ クリスマスを祝福せし舞台を 我らと上演する覚悟はあるか！
シンジ	乗り気じゃねんだけどさー、 こいつがやるってきかねーんだ。 お前も付き合っけろー。
クレア	へえ。もしかしてあの二人、 タッグであなたに挑むつもりかしら、 トラブルシューターくん。
キョータロー	た、タッグだあ！？ よりによってあの二人がか！？
テルミ	いったい、どういうつもりで…… いや、確かにあの二人なら、 予想外の反応を検出できるかも……？
キョータロー	やれるか【ユーザー名】。 さすがにあの二人相手じゃ、 お前もキツイんじゃないか？
選択肢A	// 選択肢 A 両手に花だね B 可愛がってもらう 両手に花だね
キョータロー	お……オウ、そうか。 俺には、どっちの花にも デカイトゲと猛毒が見えるぞ……。



ジR	正義の心のみでは フォローできかねる勇気だな、 キョータローよ……。
選択肢B	可愛がってもらう
エチカ	あーいうとこがアレなんだよね、 シレーナー？
シレーナ	ですね、エチカ。 クリアは絶対に任せません。
合流	
ムツキ	さあ行くぞ、シンジ。 黙っていれば最高に可愛い お前の力、私が引き出してやる。
シンジ	うっせ、プロデュースすんな。 お人形さんみてーに可憐なその体、 傷つかねーよーに守っちゃる。
キョータロー	……もう結婚しろあいつら。
ムツキ	出でよ、パールムツキ！ 我が恩師七羽サワカの楽曲により、 力を得た我が垂迹！
パールムツキ	聖夜を偶像の歌と ディストーションで彩ろう、 我が現身よ！
シンジ	じゃーこっちもテキトーに、 スペシャルなコタローに アレンジするんで、よろびく！
コタロー	ニヤニヤーニヤニヤニヤニヤー！ (メリークリスマス！)

話者	台詞 / ト書き
	//ベールムツキ&コタローとバトル
ムツキ	手を抜くなよ、シンジ。 最後まで、お前らしく美しく、 強く在れば貴様を認めよう！
シンジ	そっちこそ、 アイドルスマイル忘れなかったら デコにチューしてやんよ！
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■ULA渋谷
キョータロー	うし、勝ったか……！ さすがは見える試合しやがるな、 あの二人はよー。
テルミ	うん……てゆうか、 カッコいいのに可愛かった。 なんかキュンとしちゃったよ。
ミアラカ	尊いとはこーいうことですね、 先生……！ お腹の下のほうが熱いですっ！
ムツキ	おのれシンジ！ やはり貴様が手を抜いたから 敗れたじゃないか！
シンジ	あーん？ お前がアイドルにこだわるから 一手遅れたんじゃないか？
ムツキ	ふん、 所詮は顔だけの暴れ猫か。 貴様とは生きる場所が違いすぎる！
シンジ	上等だ。 あっちでULA渋谷流に 相手してやんよ！
キョータロー	場外乱闘はじまってんぞ……。 まー、会場は盛り上がってるから 御の字ってどこか。
クレア	ええ、期待通り——いえ、 期待以上のエラーを検知したわ。 私の推論を裏付けてくれそう。
テルミ	姫……？ 今のでなにかわかったの？
クレア	あなたが先に発生法則を 見つけてくれたおかげね。 持つべきものは友人だわ。
テルミ	ゆうじ……ゴホン、 いいからわかったことを教えて。 そっちの分野なんですよ。
クレア	『小特異点』に発生していた ノイズの一部が解析できた。 これはやはり——暗号ね。
ミアラカ	暗号っ？ 魔法式や呪文みたいなの？ 数秘術的なアレですかっ！？
クレア	まあ近いわ。 全くのランダムな数列や 文字列ではないことは確か。
テルミ	……暗号っていうなら、翻訳は？
クレア	これだけでは無理ね。 ブラックボックスが多すぎるし、 我々の言語に置換できるかどうか。
キョータロー	それって、姫が新しく 研究してたっていう……。
クレア	『ACTの中間言語』。 高い確率で同じものでしょうね。

テルミ	ねえ、クレア。 前に、そのACTの中間言語—— ノアの歌について話したよね。
クレア	……ええ。 ノアの歌は、私でも想定しえぬ エラーをACTに引き起こした。
テルミ	ノアって、アクシスレイヤーで 攪張したんでしょ？ だったら、この暗号も……。
クレア	アクシスレイヤーのデータに 解析の鍵がある、と 言いたいのかしら？
キョータロー	アクシスレイヤー…… ユウトが最後に戦ったっていう 管理者レイヤーか。
ミアラカ	ふむ……今の私達では、 そんなレイヤーを調べる 手段がありませんねー。
アナテマ	そうとは限りません。 アクシスレイヤーに入れる ACTがここに存在します。
テルミ	アナテマ……！？
クレア	あなたは……。
コウヘイ	やあ、みんな。 そこにいたから連れてきたけど…… 連れてきてよかったんだよね？
セナ	……………。 遅れてゴメン、おにーさん。

EX STAGE”,”クリスマス・ストーリーズ3

話者	台詞 / ト書き
	■ULA渋谷
ミアラカ	アナテマ……？ 遅刻したと思ったら なに言ってんです？
アナテマ	アクセスレイヤーのデータが 必要なのでしょうか？ 私ならアクセスできます。
クレア	あなたは、かつての力—— 聖別機としての性能と記憶を 失っていると聞いたけれど。
セナ	……なんか、思い出してるみたい。 それと、ちょっぴりなら 昔の力も戻ってんだっさ。
キョータロー	マジかよ……！？ お前、気づいてて黙ってたのか？
セナ	なんとなく。 嘘つきのヘタなんだよ、こいつ。 つつく気もしなかったけど。
コウヘイ	……僕らが調べたときはなにも わからなかったんだけど。 大したもんだね、キミのカン。
アナテマ	サーバーと直結していない私には オルタナステージを司るような 万能の力はありませんが——
アナテマ	——アクセスレイヤーに 触れることは、なんとか可能です。 誰かが望めば、の話ですが。
ミアラカ	……どします、先生？ あのアナテマが 言うことですよ？
	//選択肢 A 信じてみたい B 力を貸してほしい
選択肢A	信じてみたい
ミアラカ	ほほー。信じるんですか、 お姉ちゃんと先生が戦った、 このアナテマを……。
ミアラカ	……ま、そですよー！ 先生はそーだろーって 思っていましたよ、ミアは！
選択肢B	力を貸してほしい
ミアラカ	かつてのラスボスの力を 借りようってんですね、 先生……？
ミアラカ	……賛成です！ ミアも、使えるもんは 悪魔でも使えって思います！
合流	
セナ	ゆるいね、おにーさん…… まあ、僕もそう言いそうな気が してたけどさ。

アナテマ	……私はもっと、長く悩まれることを想定していました。
キョータロー	へへ、使い手ひつくるめて【ユーザー名】に信頼されたみて一だな。
コウヘイ	それより、アナテマ。提案は結構だけど、それをして君にどんなメリットがあるんだ？
コウヘイ	まさか、これまでやったことの罪滅ぼし……なんてことは言わないよね。
アナテマ	……。理由の全てを、今ここで話さなくてははいけませんか？
クレア	秘密にしたい——言葉にできない、ということかしら。
アナテマ	今は、まだ。帰ってきたら、お話ししましょう。
テルミ	……含みあるね。セナ、キミは反対しないの？
セナ	止める理由ないもん。問題あればおにーさんと一緒に解決するよ、助手ですから。
セナ	だから、やるならやらせる。その暗号っての、僕も興味あるしさ。
クレア	……ならば、決まりね。では任せてみましょう、彼女に。
コウヘイ	ああ。いざとなったら、あいつに手伝わせればいいしね。
	■スクランブル交差点
アナテマ	……。それでは、行って参ります。私のセナ。
セナ	うん。……一応、気をつけて戻ってきなよ、アナテマ。
アナテマ	……。セナ。あなたはまったく私に、依存しませんでしたね。
セナ	……？ なんだよ、こんなときに。
アナテマ	はねっかえりの子どもで。承認欲求がひと一倍強くて。他人が嫌いで、でも愛されたくて。
アナテマ	私とマッチングする人間として、これほど適格で、愚かな人間はいませんでしたよ。
セナ	はいはい、そーですよ。お前みたいな性悪ACT、僕ぐらいしか使わないよ。
アナテマ	本当です。世間に適応したいなら、もっと大人になりなさい。
アナテマ	他人を呪って楽しむ知性——表現者は、過分に嫌われますよ。私の大事なセナ。
セナ	……。？
アナテマ	——【ユーザー名】。セナのことは、お願いしますね。
セナ	ちょ……お前、なに言って……。
	■アクセスレイヤー
アナテマ	……。懐かしい。私の故郷……。ラザロが私を育てた世界。
アナテマ	しかし、書き換えられたこの場所は、私のような侵入者を許さない……。

アナテマ	そうですね、 父なるジョシュア？
	…………… ふふ、答えてはくれませんか。 結局私は、あなたの娘ではないのですね。
メアリーQ	あなた、だあれ？
アナテマ	……！！
メアリーQ	メアリーはねえ、 仲良く遊んでほしいの。 だって今日はクリスマスでしょ？
アナテマ	これは……イベント用のACTを、 侵入者デリート用のワクチンに カスタマイズしましたか。
アナテマ	望むところです。 私を消してくれるなら、誰でもいい。 ……彼を、巻き込まずにすむ。
アナテマ	しかし、タダでは消えません。 ここのデータを、少しでも あちらに届けてから……。
メアリーQ	……変なおお。 あなた、死ぬためにここへ来たの？
アナテマ	どう取ってもらっても構いません。 が、いつかはこうなると 思っていましたよ。
アナテマ	『永遠』をDLした者が苦しむように、 『呪い』をDLした者も滅ぶ。 不変の摂理が世には在る。
アナテマ	私はもう——それを見たくない。
アナテマ	私のために、彼が呪われるぐらいなら。 ……あの、ヒロインが そうしたように——。
メアリーQ	ふ～ん、愛されてないのに健気だねー。 でもね、メアリーと遊びたい人は、 他にいるみたいだよー？
アナテマ	え……？
ノアの声	『あの日 なくした欠片を ずっと探していた 同じ 毎日の中で——』
アナテマ	こ、これはあのACTの…… ノアの楽曲……！？ それも新しい曲……。
アナテマ	ノアが、どこかから アクシスレイヤーに干渉して—— いや、さらに誰かがここに……？
メアリーQ	あれあれえ？ 新しいヒトだあ。 あなたも遊んでくれるの？
アナテマ	【ユーザー名】！！ なぜあなたまで…… まさか、これもノアの力ですか！？
アナテマ	あなたの意識は、wiz-domと—— レイヤードと同期しているのですよ！ ここでデリートの対象になれば……！
アナテマ	——ここで倒れれば！ あなたの意識は復元不可能になります！ 帰りなさい！
	//選択肢 A アナテマと一緒に B セナが待ってる
選択肢A	アナテマと一緒に
アナテマ	なにを……言っているのですか。 私は、あなたのヒロインを奪った 諸悪の根源ですよ……！？
アナテマ	そんな相手を、 自分の存在を賭けて救うなど！ 間違っています！

選択肢B	セナが待ってる
アナテマ	彼は……この機会に、 私から解放されるべきなんです。 そう決めてここに来たのに……。
アナテマ	そもそも、彼はあなたを 疎んでいたでしょう！ なぜ彼を思いやるのですか……！
合流	
アナテマ	どうしていつも、 余計なことをするのか…… お前達は……人間は……。
アナテマ	現実逃避に逃げれば、 人として幸せになれるのに！ なぜこっち側に来るんだッ！
メアリーQ	メアリーは誰でもいいよー。 クリスマスに、強い子と 仲良くなれるならー。
アナテマ	……ッ。
アナテマ	……どうせ戦うなら、勝ちなさい。 あなたは、彼女が認めた 英雄なのでしょう。
アナテマ	そして、この楽曲—— これを歌っているあなたも！ 最後まで見届けなさい！
ノアの声	『誰も 止められないわ 背中を 押すから きっと大丈夫——』



話者	台詞 / ト書き
	//メアリーQとバトル
メアリーQ	呪いのACTも、英雄も！ 今夜はいっぱい殺していいんだよね～？
メアリーQ	みんなみんな、メアリーが この方舟に乗せてあげるよ！ メリーメアリーナイトメア～！
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
メアリーQ	あれえ……ブラッドちゃん、 今年のクリスマスは、 終わっちゃうみたいだね～……。
	■スクランブル交差点
ユウト	終わった？ 【ユーザー名】、 相変わらず無茶するね。
ノア	全員無事みたい、ユウト。
コウヘイ	ふー、間に合ったか。 クリスマスイベントどころじゃ なくなったね……。
カツマ	ホントだよ……でも、よかった。 【ユーザー名】も、 アナテマも無事で。
アナテマ	やはり、あなた達でしたか。 響ユウト、そしてノア……。
ユウト	初対面のはずだけど、 よく知られてるみたいだね。 どーも。
ノア	はじめまして、アナテマ。
アナテマ	最低最悪な屈辱です……。 あなた達の歌に救われるなど。
アナテマ	ユウト。あなたを想うノアの楽曲が、 アクシスレイヤーに働きかけ—— 彼を、あの場所に導いたのですね。
ユウト	そーいうことみたい。 まあ、望まれてない気もしたけど セナってヤツが——
セナ	アナテマあーッ！ 大丈夫！？ 消えてないのかッ！？
アナテマ	セナ……。
ユウト	——こんな感じでテンパってたから。 クレアの新曲を、 ノアに歌ってもらった。
セナ	なにやってんだよお……！ 僕の命令を無視して、 勝手に消えようとするなよッ！
ノア	ユウト。 男の子が泣いてる。 歌う？
ユウト	黙っついて、ノア。 子どもは泣いて戦うもんだから。
アナテマ	セナ、あなたは…… 私がいれば、私との相性に 呪われ……彼のように……。
セナ	逃げる必要ないって言っただろ！ 信じるよバカッ！ 責任取れない大人どもと一緒にすんな！

アナテマ	……………。
セナ	どこにいていいかわかんないなら、 ずっと握っていいから、勝手に、 消えるなよ……命令だからな……！
アナテマ	……………。 はい、私のセナ。
ユウト	ね。言った通りでしょ。
ノア	そうだね、ユウト。 誰も止められないね。
アナテマ	……………。 上から目線感がムカつく……。 やはり滅ぼせばよかった……。
アナテマ	そして——そして、やはり。 本当に腹が立つのは！
セナ	アナテマ……？ ぐすん……。
アナテマ	ジョシューアーツ！ この期に及んでもお前が反応するのは ノアの歌だけか、妹の歌だけかッ！
アナテマ	このシスコン攪張マウントクソ親父！ いいかげん静かに寝てろ、 天才気取りのクソったれが！
ユウト	…………うっわ。 超合ってる。
セナ	あ、アナテマ……。
アナテマ	ふー……スツとしました。 品が無かったでしょうか？
ユウト	ああ。 でも……いんじゃない？
セナ	い、いいのかな……？
カツマ	いいんじゃないかなー、 毒親離れてことで！
アナテマ	ふふ…… と、笑っている場合ではありません。 ——データは、持ち出せました。
セナ	ほ、ほんと！？ さすがアナテマ……！
アナテマ	暗号は解き明かせるでしょう。 しかしそれだけでは 彼の願いは叶いませんね。
ユウト	……………。 無駄足だった、ってこと？
アナテマ	…………いいえ。 起こすのは聖夜の奇跡ではなく 現実であるべきなのです。
アナテマ	思い出しなさい、 【ユーザー名】—— あなたのヒロインが望んだ夢を。
	■画面暗転・アナテマサーバーでの回想
イオン	わたしは、歌が苦手ですから。 へたに歌ったら、UNPLを 押されてしまいます。
イオン	それとも、ユーザーさんはわたしに、 あなたとは別のかたのために 歌ってほしいですか？